

小・中学校運動施設利用
日程調整会議

1~3月の利用日程調整会議。小学校体育館・校庭、中学校体育館・武道場・校庭、校庭照明施設(綾北中・城山中・春日台中のみ)の利用を希望する団体の代表者は、必ず出席。**持**登録証**開**スポーツ課☎70・5656

学校名	時	場
綾瀬小	12/7(月)19:00~	綾瀬小体育館
綾北小	12/6(日)9:30~	綾北小体育館
綾西小	12/1(火)19:00~	綾西小体育館
早園小	12/3(木)19:00~	早園小体育館
綾南小	12/6(日)10:00~	綾南地区センター
天台小	12/5(土)18:30~	寺尾いずみ会館
北の台小	12/5(土)19:00~	大上会館
落合小	12/14(月)19:00~	落合自治会館
土棚小	12/7(月)19:30~	南部ふれあい会館

寺尾小	12/7(月)18:00~	寺尾南自治会館
綾瀬中	12/5(土)20:00~	綾瀬中体育館
綾北中	12/5(土)19:00~	綾北中グラウンド
城山中	12/6(日)19:00~	城山中体育館
北の台中	12/2(水)20:00~	北の台中体育館
春日台中	12/7(月)19:30~	春日台中体育館

※綾南・天台・寺尾小学校体育館は、1月末まで土曜日の利用不可
※今年度は、スポーツ課窓口の随時申請の受け付けはありません

中学校部活動だよりについて

今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、自治会の回覧には配布しません。例年どおり、iIMURO GLASS 市民スポーツセンター、中央公民館、地区センターなどへは配架します。次号は11月30日発行の予定です。**開**綾瀬市中学校部活動振興会☎77・5621

iIMURO GLASS

市民スポーツセンター情報

●同センター、野球場などの利用申し込み

▶2月分利用申し込み 12月1日(火)8時30分から市ホームページ公共施設予約システムか同センター

▶3月分の利用抽選▶**開**登録区分が「市民」「市民1/2超」の団体▶**開**12月1日~15日に同システムか同センター

●トレーニング講習会
トレーニング室の器具の使用方法などの講習会。**時**同センターで要確認**開**高校生以上の方(同室を初めて利用する方は必ず受講)**開**運動着、体育館履き

●その他
新型コロナウイルス感染症対策のルールがあります。詳しくは同センターホームページURL <https://nicspark.com/ayase> をご覧ください

あなたの心に残っている「思い出の味」は？

料理の一皿には、取り巻く環境や人々とのつながりの記憶が凝縮されています。綾瀬市食生活改善推進協議会が作成した「エピソード付きのレシピ集」から、思い出の味を紹介します。

《イワシの梅干煮》

(材料4人分)イワシ大4尾・昆布10cm・梅干し2個

エネルギー139kcal、塩分相当量1.7g

①(しょうゆ大さじ3・酒大さじ3・みりん大さじ1・砂糖小さじ1)

【作り方】**①**イワシは頭を落とし、はらわたを除き、水の中で中骨をこそげるように洗う **②**浅い鍋に切れ目を入れた昆布を敷き、①の調味料と水3/4~1カップを入れて火にかける **③**煮え立ったら、イワシの頭があった方を左側にして並べ入れ、梅干しを入れる **④**煮汁が少なくなってきたら、時々煮汁をすくいかけ照りよく煮あげる。

《同会会員のエピソード》

子どもの頃から梅の実る頃になると、イワシを茅ヶ崎から自転車で売りに来ました。サバと共によく食べた魚で、青魚は昔から体に良いとされていました。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、家庭で調理を楽しむ時間が増えました。今だからこそ自宅で楽しく、さまざまな記憶に思いをはせながら食を通じた健康づくりに取り組みましょう。

開健康づくり推進課☎77・1133



1day
Reform

【 最近、ご依頼が急増しています 】

- ・後付けシャッター新設・・・強風や大雨対策、また防犯対策としても有効です
- ・スタイルシェードの新設・・・熱中症対策や周囲の視線を遮る効果もあります
- ・タッチレス水栓への交換・・・レバーに触らずに、手をかざすだけで水が出ます

広告

他にも、小窓への面格子の取り付けや、勝手口にアルミ製の網戸を取り付けたい等々、サッシ廻りのご依頼を多くいただいております。

窓廻り・水廻りのご心配事はお気軽にご相談下さい

フリーダイヤル 0120-33-5643

窓まわり・水まわりの Specialty

有限会社 ティー・エスラウンド

〒252-1108 綾瀬市深谷上8-3-30

ティエスラウンド 検索 市役所HPからもどうぞ



市内のちよっと珍しい
文化財を紹介③
矢倉沢往還と綾瀬



矢倉沢往還は、江戸の赤坂御門を起点とし、駿河国(静岡県)の東海道三島宿へ至る街道です。途中に矢倉沢関所が設けられていたことから「矢倉沢往還」と呼ばれていました。同往還は、行き先により表す名称が変わり、足柄道・江戸道・青山街道・厚木道などと呼ばれました。複数の名称がつくほど、利用されていたことがわかります。江戸時代中期以降、大山講が盛んになると、江戸から大山への参拝道としてにぎわったことから、大山街道とも呼ばれました。



赤坂(現赤坂バス停付近)



古東海道と伝えられている道



矢倉沢往還(手前)から小園へ入る道。「華山ゆかりの道」説明板と石の道標があります

同往還の歴史は古く、一部は駿河国と武蔵国(東京都など)を結ぶ主要な道の一つとして、8世紀ごろから利用されていたと考えられています。市内にも、古東海道と伝わる道があり、古代の道路は神奈川県の内陸部を通っていたことがわかります。

江戸時代になり、箱根峠を越える現在の東海道が整備されると、東海道の脇街道として、相模国(神奈川県の一部)の産物を江戸へ運搬するなど、庶民の生活を支える道となりました。

市内を通るのは、大和市下鶴間から海老名市国分までの間、現在の寺尾北一・二丁目、寺尾台二丁目、小園と海老名市との市境です。同往還から市内に入る場所が赤坂(小園)です。明治15年に陸軍により作成された迅速図には、赤坂の周辺に旅館や立場(当時の休憩所)が記載され、人の往来が盛んであったことがわかります。

天保2(1831)年に三河国(愛知県)田原藩士の渡辺華山が著した紀行文「遊相日記」に、同往還を通った記述があります。同日記には、同藩主三宅康友の四男友信の命を受けた華山が、小園村に住む友信の産みの母であるお銀さまを訪ね、同往還の赤坂から同村に入った際の周辺の地図が描かれています。

同日記は当時の道や村の様子、農村の暮らしがわかる貴重な資料です。厚木へ向かう華山を、お銀さまを含め同村の人々が村境の橋で見送ったことも書かれています。この橋が現在の小園橋と考えられています。

同往還を多くの人や物が往来し、広い地域に多種多様な情報が伝わりました。文化や経済の発展を考える上で、道は重要な文化財です。同往還をとおりて歴史や文化の変化を感じてみてください。

開生涯学習課☎70・5637



昭和期に整備された道標。正面に左大塚・右国分、裏面に小園と刻まれています



渡辺華山一行を見送ったとされる小園橋